

平成 31 年度（2019 年度）

日本声楽発声学会

第 109 回例会 第 55 回総会

2019 年 5 月 26 日（日）

9 時 55 分 ～ 16 時 30 分（受付 9 時 30 分～）

東京藝術大学

5-109 大講義室（予定）・第 1 ホール

（J R 上野駅公園口より徒歩 10 分）

（お願い）

① 携帯電話など音の出るものは電源をお切りください。

② 録音、録画、写真撮影は固くお断りします。

（なお、本学会では記録用として録音録画をいたしますが、それ以外は個人のプライバシー保護のため、厳禁といたします。違反の場合は機材等を学会でお預かりすることがあります。）

日本声楽発声学会 第109回例会・第55回総会

爽やかな気候となりました。皆さまにはますますご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

2019年度第109回例会および第55回総会のご案内でございます。例会プログラムでは、会員の皆さまの研究発表、外部からは講師の先生方の日頃の研鑽をご提供願い、本学会の研究の糧となりますよう企画致しました。また、総会では、今回は会長、理事の改選期にあたり、会員の皆さまがご投票くださり、選出くださいました企画運営を担う新理事の報告をお伝えしなければなりません。新元号元年にあたり、心機一転、本学会の発展を願い、万障繰り合わせ多くのご参加をお待ち申し上げます。

会長 永井 和子

プログラム

会長挨拶	9:55 ~ 10:00	総司会	豊田喜代美
		会長	永井 和子
A 研究発表	10:00 ~ 11:05 (5-109)	司会	齊藤 祐
①	10:00~10:30 (質疑応答含む) 神林 恭氏 (かんばやし きょう) (神林歯科理事長、米山文明呼吸と発声研究所指導者資格取得 会員) テーマ : 歌唱と顎関節～顎関節症について		
②	10:35~11:05 (質疑応答含む) 山内昌也氏 (やまうち まさや) (沖縄県立芸術大学准教授 会員) テーマ : 琉球古典音楽歌三線について		

~~~~~

### 第55回総会 11:15 ~ 12:15

(総会次第は、8頁に記載。総会資料は当日配布いたします。)

~~~~~

～ 昼 食 ～

昼食は、藝大美術学部レストラン「大浦」をご利用ください。

尚、申し込みにつきましては6頁をご覧ください。

~~~~~

B 特別講演 13:00~15:00 (5-109 大講義室 (予定))

司会 : 佐々木正利

演題 : 音楽脳の特徴と声楽演奏時の脳活動

講師 : 田中昌司氏 (たなかしょうじ) (上智大学理工学部情報理工学科教授)  
(Dept. of information & communication Sciences Sophia university)

### 講演概要

演者はこれまで多数の音楽家・音大生の参加を得て、音楽脳の研究を行ってきた。各主なテーマは、(1) 音楽家と非音楽家の脳の比較、(2) イメージ演奏時の脳内ネットワーク、(3) 演奏時の脳波：脳活動とダイナミクスである。声楽・器楽を問わず音楽脳を研究してきたが、最近では声楽家の脳の研究に重点を置いている。本講演では、(1) と (2) を簡単に紹介した後、(3) に関する最近の結果を詳しく解説する。

(1) 音楽脳の特徴として、脳の局所体積が大きくなっている部位が多く見られる(いずれも統計的有意差がある)：視覚野、前頭前野や頭頂皮質の一部など(音楽シンタックスやメロディーなどを処理する部位)。心的イメージを構築する部位のネットワークや視床・皮質ネットワークも音楽家は強化されている。逆に線条体は音楽家の方が有意に小さい。線条体はスキルの学習を担うネットワークの一部で、その縮小は長期にわたる音楽トレーニングによって刈り込まれたためであると解釈される。

(2) MRI 装置内での演奏は事実上不可能であるため、私たちはイメージ演奏という手法を用いた。注目した脳部位は運動プランニングを司る補足運動野で、イメージ演奏時に、補足運動分野のネットワークが音楽シンタックス、視覚・聴覚、社会的感情などの情報を統合することを示す結果が得られた。

(3) アリア歌唱中の脳波を計測して、脳活動と脳内ネットワークのダイナミクスなどを解析している。演奏に必要な認知制御と感情のコントロールに関わる脳活動の他、メタ認知を司る前頭極のネットワークなどを理解することが目的である。メタ認知は自分の思考や行動を客観的に認識する能力であり、感情のコントロールにも重要な役割を果たす。これまでに感情の高ぶりを反映して増加する脳波パワーや、内観や共感、エピソード記憶、ワーキングメモリーなど、興味深い現象が認められているので、講演ではできる限りの解釈を試みる。

### 田中昌司氏 プロフィール

(国内)

1976年-1980年 名古屋大学工学部・電気電子工学科

1980年-1985年 名古屋大学工学研究科(博士課程) 核融合プラズマの理論・シミュレーション研究

1985年 日本原子力研究所(那珂核融合研究所)(PD) 核融合プラズマの理論・シミュレーション研究

1986年-2008年 上智大学理工学部電気電子工学科(講師、助教授、教授) ワーキングメモリー、前頭前野神経回路の研究

2008年-現在 上智大学理工学部情報理工学科(教授) 音楽脳の研究(脳イメージング解析)

(国外)

1998年 Yale 大学医学部(客員科学者) ワーキングメモリー、前頭前野神経回路の研究

2005年 Columbia 大学医学部(客員教授) PET modeling

2007-2011年 University of California, San Diego マウスの多次元行動モデル

(学歴及び学位)

名古屋大学 工学部 電気電子工学科 1980/03/25 卒業

名古屋大学 工学系研究科 電気工学 修士 1982/03/25 修了 工学修士

名古屋大学 工学系研究科 電気工学 博士 1985/03/25 修了 工学博士

C 現役音楽家の演奏とお話 15:20~16:20 (第1ホール)

司会: 川上 勝功

講師: ニコラ・ロッシ・ジョルダーノ氏 (テノール)

ピアノ: 早川揺理氏

通訳: 栗原利佳氏

曲目: 「Tristezza 悲しみ」 トスティエー作曲  
オペラ『トスカ』より「星も光りぬ」 プッチーニ作曲  
「カタリ カタリ」 カルディッロ作曲 他

## 概要

来日してから、日本人の方々をレッスンしていて気が付いたことがあります。

ベルカント唱法に絶対不可欠な『APPOGGIO』『アッポッジョ』についての指導と説明が十分にされていないこと、また、『APPOGGIO』が何のことであるかを知らないで歌っている方々が沢山居ることです。

もう一つ重要なこと。『息の上で歌う』と『息で歌う』ことの違いです。『アッポッジョ』、必要な十分な圧力をかけながら、『息の上で歌う』と、声帯に負担をかけて押して歌う必要がなくなるのです。また、『VOCALFOCUS』ヴォーカルフォーカス『声の焦点を合わせる』ことについても、お話する必要があるでしょう。顔面にある共鳴腔を使って、高い位置に響きの点を集める、つまり、声の焦点を合わせ

るということです。そうすることで、光り輝くような響きと、声の響きが前に進むスピード感のある声を得ることができ、高音に飛躍する際に声帯や体にかかる負担を軽減することができます。これらの3つのことがもっとも重要な伝えたいことです。『APPOGGIO』『Cantare sul fiato』（息の上でうたう）』『Vocal Focus』これらのテクニックを実際に声を聴いていただきながら、分かりやすく説明させて頂こうと思います。

## プロフィール

### \*ニコラ・ロッシ・ジョルダーノ氏

イタリア、ジェノヴァに生まれる。2000年、スペイン、コルトヴァ国際コンクールを皮切りに数々の国際コンクールにて優勝。オペラ「アイダ」のラダメス役で、エジプト・カイロでデビュー以来、世界最高峰の演出家フランコ・ゼフィレリに見出され、その後、前代未聞のスピードで世界主要の劇場でデビューを果たし、「シモン・ボッカネグラ」「蝶々夫人」「トスカ」「ノルマ」等々、主要なオペラの主役を次々とこなすその数は、ここに挙げるに絶するほどにあり、氏の歌声はまさに世界中を魅了している。

### \*栗原利佳氏（くりはら りか）（通訳）

フェリス女学院大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。2004年スペーツィアカルロ国際声楽コンクール優勝。2006年イタリア、サボーナで行われたポンティンブレア国際声楽コンクール優勝。故疋田正次郎、ルイーザマラリアーノ、故オッターヴィオガラヴェンタに師事。二期会会員

### \*早川揺理氏（はやかわ ゆり）（ピアノ）

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。東邦音楽大学総合芸術研究所ピアノ伴奏法コース修了。マウロ・アウグスティニ氏の日本における声楽マスタークラスのパアニストを毎年務め、声のベルカント唱法を声楽家と共に研究。日本歌曲を塚田佳男氏、ロシア音楽をアレクセイ・トカレフ氏、ドイツ音楽や宗教音楽をウーヴェ・ハイルマン氏の元で研鑽を積み、多岐に亘り活躍。

（ご案内）臨床音声学研究会東京を開催いたします。

2019年5月25日（土） 午後5時から午後7時。

場所：帝国ホテルミーティングルーム（帝国ホテル本館5階、TEL 03-3504-1111、千代田区内幸町1-1-1）

声楽発声学会会員で医師関係の人が中心に行っている研究会ですが、どなたでも参加は自由です。参加費は1000円です。

参加希望者は氏名と連絡先を記載の上、5月18日までに竹田までお願いします。

（FAX 03-5313-3281、または e-mail : CQN00234@nifty.ne.jp）

竹田 数章 仙川耳鼻咽喉科院長

## ◎ 参加費

- ・正会員・学生正会員は不要です。(年会費未納の方は至急納入をお願いいたします。)
  - ・臨時会員 6,000 円、学生臨時会員 (大学院生含む大学生) 3,000 円。
  - ・C講座のみの受講 3,000 円。
- \*学生の方は、当日学生証の掲示をお願いいたします。

## ◎ 参加申込について (下記、注意事項をお読みください)

- ・正会員・学生正会員の方は、今回は総会がありますので、5月17日(金)までに同封のはがきでご出欠(欠席の場合は委任状)のご提出をお願いいたします。(昼食については下記の要領にてお申し込みください)
- ・臨時会員、およびC講座のみの受講、として参加される方は、参加費を下記の郵便振替口座に5月17日(金)までに納入してください。通信欄に、「5月例会参加費」と明記し、所属、紹介者、住所、氏名、連絡先を明記してください。当日の参加受付も可能ですが、できるだけ事前の申し込みをお願いいたします。当日受付で入金を確認させていただくことがありますので、振込受領書、または振込明細をご持参ください。なお期日を過ぎた場合は入金確認ができませんので当日申込のうえ、振込用紙をお渡しいたしますので、後日お振込みをお願いいたします。

振込先 郵便振替口座 00170-0-119920 加入者名：日本声楽発声学会

## ◎ 昼食の事前申込について

(昼食弁当は事前申込のみとなります。当日欠席の場合は後日お振込みいただきます。)

会員の方は5月17日(金)必着で、事務局へFAX、E-mail、ハガキでお申し込みください。総会出欠ハガキの下段に昼食の申込み箇所がありますので、ご利用ください。(電話での申込はご遠慮ください)。お弁当(お茶ペットボトル付)1,000円です。当日、受付でお支払いいただき、引換券をお渡しします。昼食は東京藝術大学美術部学内レストラン『大浦食堂』をご利用ください。

臨時会員で昼食お申込みの場合は、例会参加のお申込みの際の「振込取扱票」に書き添えてお申込みをお願いいたします。代金は当日受付時にお支払いください。

~~~~~  
(注意事項)

1. 参加費の会場での徴収について、

参加費の会場での徴収は禁止されていますので、必ず事前にお振込みください。
事情により当日受付となる場合は振込用紙をお渡ししますので、折り返し必ずお振込みをお願い致します。

2. 昼食代に関して

昼食代は当日のキャンセルはできません。お申込みいただいて当日欠席の場合は、後日お振込みいただくこととなりますので、あらかじめご承知おきくださいますようお願いいたします。

~~~~~

**連絡先**

日本声楽発声学会事務局 (担当：安原)

〒215-0003 神奈川県川崎市麻生区高石 4-11-14-409

Tel & Fax : 044-577-2037 E-mail : info@jars-voice.org

## 日本声楽発声学会 第55回総会次第

日 時 2019年5月26日(日) 11:15～12:15

会 場 東京藝術大学 5-109(大講義室)(予定)

1. 開会の挨拶
2. 議長の挨拶
3. 議 題
  - (1) 2018年度(平成30年)事業経過報告
  - (2) 2018年度(平成30年)収支決算報告
  - (3) 2018年度(平成30年)会計監査報告
  - (4) 上記(1)、(2)、(3)の承認
  - (5) 2019年度(新元号)事業計画案審議
  - (6) 2019年度(新元号)予算案審議
  - (7) 上記(5)、(6)の承認
  - (8) 役員・会員の動向
  - (9) 選挙結果報告—新理事発表および紹介
  - (10) 上記(9)の承認
  - (11) 新会長互選結果報告
  - (12) 新会長挨拶
  - (13) 総会終了宣言
4. 総会閉会の挨拶